

ミッション・スクール

日本人と聖書 第10回

ミッション・スクールとは

- 「宗教の伝道を目的として伝道団体(ミッション)により設立された学校」
- プロテスタント系が**317校**(小学校から大学まで)
(キリスト教学校教育同盟加盟校)
- カトリック系が約**160校**
(日本カトリック学校連合会加盟校)
- 広島では、広島女学院・広島学院・三育学院・エリザベト音大・ノートルダム清心など

ミッション・スクール

明治学院	1863年	ヘボン
フェリス女学院	1870年	キダー女史
梅光女学院	1872年	スタウト
立教学院	1874年	ウィリアムズ
青山学院	1874年	米国メソジスト教会
同志社	1875年	新島襄
広島女学院	1886年	砂本貞吉

ミッション・スクールの歴史

- 宣教師たちによる「英語塾」の誕生
 - 宣教の重要な拠点として
- 大学(高等教育学校)として設立
- 「**教育勅語**」の発布(明治23年)
 - 天皇を「現人神」(あらひとがみ)とする
- 内村鑑三による「**不敬事件**」(明治24年)
 - 各地でキリスト教反対運動、迫害が起こる
- キリスト教教育・儀式の禁止(明治32年)

同志社大学

- 1875年(明治8年)、新島襄により創立

... (同志社の) 目的とする所は、独り普通の英学を教授するのみならず、其徳性を涵養し、其品行を高尙ならしめ、其精神を正大ならしめんことを勉め、独り技芸才能ある人物を教育するに止まらず、所謂**良心を手腕に運用するの人物を出さん事**を勉めたりき。而して斯くの如き教育は、決して一方に偏したる智育にて達し得可き者に非ず。唯だ上帝を信じ、真理を愛し、人情を敦くする基督教主義の道徳に存することを信じ、基督教主義を以て徳育の基本と為せり...「設立の旨意」(抜粋)



広島女学院の歴史

- 1886年(明治19年)、砂本貞吉が米国南メソジスト教会の協力を得て広島女学会を開く
- 1889年、ゲーンズ女史が初代校長に就任
- 1892年、新校舎落成。市内で唯一の洋風建築として評判となる
- 1932年、広島女学院と改称
- 1945年、被爆・全焼

★戦前は、本通りでトラクト配布！



ミッション・スクールの功罪

- 英語教育・高等教育○
 - キリスト教信仰を基盤にした優れた人物の輩出
- 女子教育○
 - 「男尊女卑」の時代に、女子にも教育の機会を
- キリスト教イメージの浸透△
 - 「清く正しく美しく」？ちょっと近寄りがたい！
- 「キリスト教卒業生」の養成×
- 学校のイメージ戦略にキリスト教を利用××

ミス・ゲーンズ

- 72歳で亡くなるまで、45年間広島でキリスト教と女子教育に携わる
- 校章の「**我らは神と共に働く者なり**」(CUM DEO LABORAMUS)は、比治山の女史の墓碑にも刻まれている

